

1. 事業説明シート

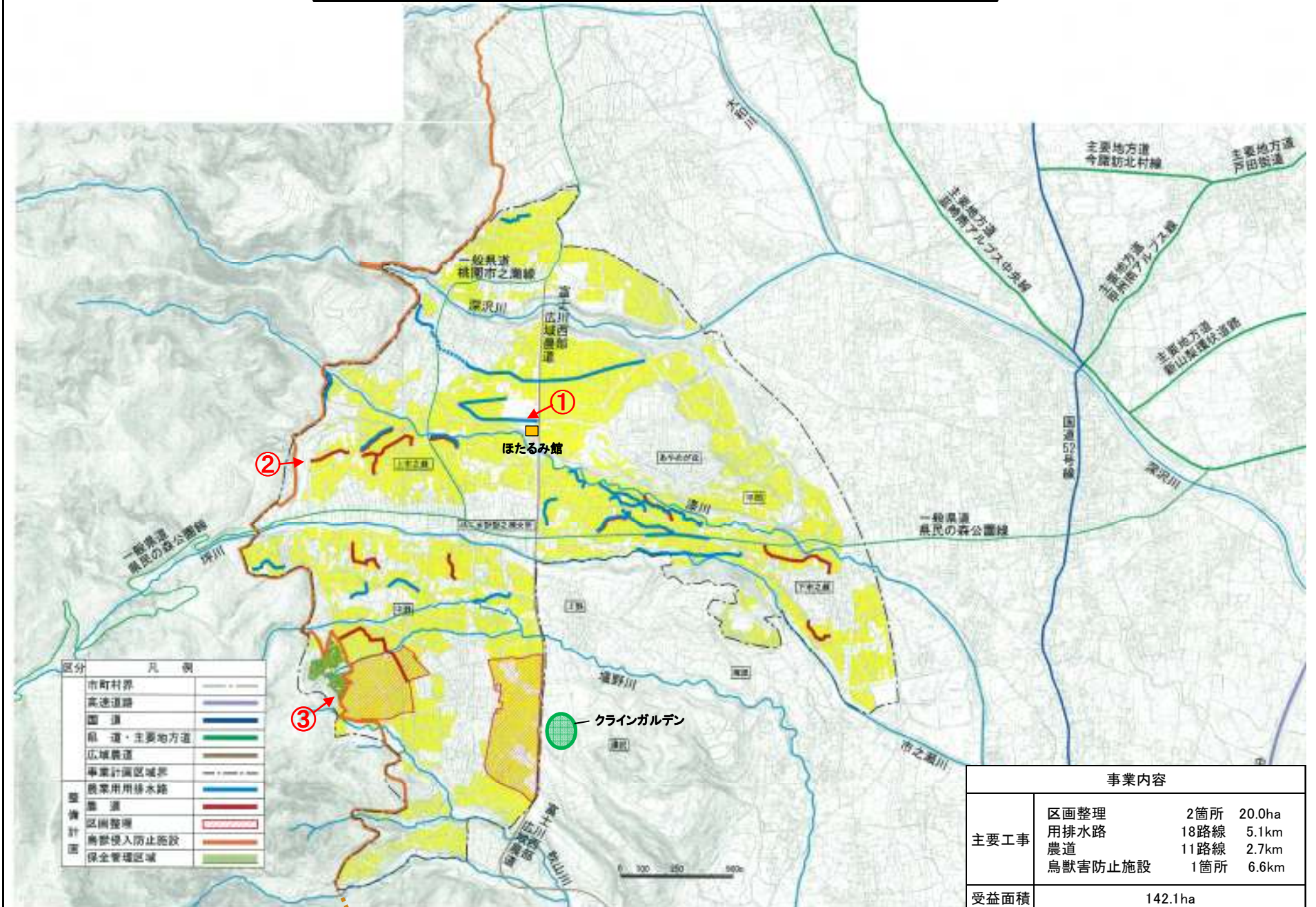
事業名 農地環境整備事業 (国補)	事業箇所 南アルプス市上宮地、平岡	地区名 <small>みなみ</small> 南アルプス <small>せいぶ</small> 西部	事業主体 山 梨 県																		
<p>(1) 事業の概要</p> <p>①課題・背景 本地区は、南アルプス市西部の楡形山山麓に位置する果樹と水田の複合経営を展開している地域であり、中でも平岡地区に広がる棚田は、農村景観スポットとして有名である。 地区内の営農状況は、農業従事者の後継者不足に加えて野生獣による農作物被害の増加や生産基盤が未整備であるため、耕作放棄地が増加するなどの課題を抱えている。 一方、本市はスモモの生産量が日本一であり、特にオリジナル品種である「貴陽」は「重さが世界一のスモモ」としてギネスに登録されたことを契機に、生産増加・ブランド品として販路拡大を目指している。 このため、区画整理を実施による担い手への農地集積を進めるとともに、特産品である「貴陽」の増産を図り、併せて用排水路や農道の整備による農作業の効率化、野生獣による農作物害の防止を総合的に行うものである。</p> <p>②整備目標・効果</p> <p>□主要目標 ○中山間地域等の農村生活・生産機能の向上 ・農業所得増加額 1,757千円/ha \geq 1,203千円/ha ※</p> <p>□副次目標 ○農業用排水能力の向上 ・施設老朽度 (耐用年数30年) - (経過年数46年) = -16年 \leq 0年 ※ ・排水能力向上率 (計画排水能力3.11 m³/s) \div (現況排水能力2.35 m³/s) = 1.3 \geq 1.0 ※</p> <p>○集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上 ・対象路線の幅員4m以上道路延長率 0% \leq 59.1% ※ (※評価基準値)</p> <p>□副次効果 ○遊休農地の解消 ○重要プロジェクトとしての位置づけ (やまなし農業ルネサンス大綱)</p> <p>③目標達成の方法 区画整理 2箇所、用排水路 18路線、農道 11路線 鳥獣害防止施設 1箇所</p>		<p>②整備期間 平成25年度～平成30年度</p> <p>③総事業費 約11億円 (国費6.05億円(5.5/10) 県費3.3億円(3/10) 市費等1.65億円(1.5/10))</p> <p>④全体計画 (年度別整備内容) (事業費)</p> <table border="1"> <tr> <td>平成25年度</td> <td>用排水路、農道、鳥獣害</td> <td>150百万円</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>区画整理、用排水路、鳥獣害</td> <td>200百万円</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>区画整理、用排水路、鳥獣害</td> <td>200百万円</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>区画整理、用排水路、鳥獣害</td> <td>200百万円</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>農道、鳥獣害</td> <td>200百万円</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>農道、鳥獣害</td> <td>150百万円</td> </tr> </table> <p>□既整備内容・期間・事業費 ・中山間地域総合整備事業 (巨摩の郷地区) H9～H16 3,874百万円</p>		平成25年度	用排水路、農道、鳥獣害	150百万円	平成26年度	区画整理、用排水路、鳥獣害	200百万円	平成27年度	区画整理、用排水路、鳥獣害	200百万円	平成28年度	区画整理、用排水路、鳥獣害	200百万円	平成29年度	農道、鳥獣害	200百万円	平成30年度	農道、鳥獣害	150百万円
平成25年度	用排水路、農道、鳥獣害	150百万円																			
平成26年度	区画整理、用排水路、鳥獣害	200百万円																			
平成27年度	区画整理、用排水路、鳥獣害	200百万円																			
平成28年度	区画整理、用排水路、鳥獣害	200百万円																			
平成29年度	農道、鳥獣害	200百万円																			
平成30年度	農道、鳥獣害	150百万円																			
<p>(2) 整備内容と整備量</p> <p>①整備内容 区画整理 A=20ha、用排水路 L=5.1km W=0.3～0.6m 農道 L=2.7km W=4.0m、鳥獣害防止施設 L=6.6km</p>		<p>(3) 中・長期計画等の位置付け やまなし農業ルネサンス大綱 (H19～H28) 韮崎市第6次長期総合計画 (H21～H30)</p> <p>(4) 事業位置等図 省略</p>																			

2. 評価シート

<p>(1) 公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) (妥当)・妥当でない</p>	<p>(5) 整備手法の有効性 (妥当)・妥当でない</p>
<p>(理由) 本地区の整備は、食料・農業・農村基本法に位置づけられている農業の持続的発展、食料の安定供給、多面的機能の発揮に資するものであり、行政が行うべきものである。</p>	<p>(理由) 農業生産基盤を整備することで、生産環境が改善されるため、地域農業の振興には最適な事業である。 また、同時に鳥獣害防止柵を整備することにより、生産の場が有害鳥獣から守られ、耕作放棄地の発生を防止する計画としている。</p>
<p>(2) 事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) (妥当)・妥当でない</p>	<p><input type="checkbox"/> 他の整備手法の有無 〈有・無〉</p>
<p>(理由) 本地区の整備は、農業生産基盤、生活環境基盤を総合的に整備して農作業の効率化や農業経営の安定化を図るものである。 また、「土地改良法施行令」第50条1項7の7により県営事業で申請すべき事業要件にも合致している。このため県が主体となって行うべきである。</p>	<p>(状況) 耕作放棄地を解消し、中山間地域の条件不利を改善するためには、本事業の他に適した事業はない。</p>
<p>(3) 経済効率性 (妥当)・妥当でない</p>	<p>(6) 環境負荷への配慮 (妥当)・妥当でない</p>
<p>(理由) ・費用(C) = 14.9億円 (内訳) 用排水路2.5億円 排水路0.4億円 農道7.3億円 区画整理2.7億円 鳥獣害2.0億円 ・便益(B) = 26.3億円 (内訳) (内訳) 作物生産効果9.7億円 品質向上効果3.3億円 営農経費節減効果7.4億円 走行経費節減効果3.9億円 観光農園転換効果1.4億円 保健休養効果0.5億円 果樹地域保全効果0.1億円 ・費用便益比(B/C) = 1.76 ・費用便益比(B/C)は国の採択基準1.0を超えている。</p>	<p>(理由) 本事業は中山間地域における基盤整備であるため、大規模な開発による自然環境の改変は避け、既存施設の改修を中心とすることで、環境への負荷を軽減している。 区画整理や農道工事では、土の切り盛り量を少なくするなど、現状の地形に応じた計画とする。また、区画整理により耕作放棄地の解消を図り、樹園地の健全な景観形成につなげる。 棚田区域での農道や用排水路工事においては、現地発生石を利用した石積み施工とし、優れた農村景観の保全に努める。 なお、工事による生態系、景観等への影響があると判断された場合には、回避、代替、低減などを踏まえた対策を講ずる。</p>
<p>(4) 事業実施・規模の妥当性 (妥当)・妥当でない</p>	<p>(7) 事業計画の熟度 (妥当)・妥当でない</p>
<p>(理由) 地区内の営農条件の改善や生活環境を整えるために必要な整備量としている。 <input type="checkbox"/> 同等施設等(計画を含む)の有無 〈有・無〉 (状況) 新設若しくは老朽化した既存施設の改修であり機能を代替する施設はない。 <input type="checkbox"/> 必要整備量の根拠 (状況)</p>	<p>(理由) 各集落の役員を中心に「農地環境整備事業推進協議会」が設立され、今後の農業振興や基盤整備の実施内容等の検討会を開催すると同時に、現地立ち会いを実施する中で、地域の意向を事業計画に反映している。 このような取り組みから、集落間の連携や合意形成も図られるなど熟度は高い。</p>
<p>区画整理： 区画の整形、集団化、担い手への集積等農作業の省力化を図るためのもので、作業効率が悪い農地を対象とした。 用排水路： 老朽化等により用水の安定確保や排水能力に支障を来している施設を対象とした。 農道： 農作物の運搬に必要な幅員が確保されていない農道を対象とした。 鳥獣害： サルやイノシシの被害発生農地及び被害発生が予測される農地を対象に必要な規模・規格の防止柵を計画した。</p>	<p>《総合評価》 (妥当)・妥当でない (理由) 7項目全て妥当と評価されることから、実施が妥当と判断する。</p>

3. 添付資料シート(1)

農地環境整備事業 南アルプス西部地区 計画平面図





①老朽化により石積みが崩落した水路



②未整備で車幅も狭く、農産物の運搬に支障をきたしている



③鳥獣害被害で、耕作放棄地が増加している



区画形状が悪い農地を区画整理し、優良農地に再生するイメージ